

記載例

様式第7号の1 (農用地区域編入用)

農用地利用計画変更意見書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

栗原市長 殿

[事業計画者]

団体（法人）の場合、氏名欄には「(株)〇〇〇 代表取締役 〇〇〇〇」と記入してください。

住所 栗原市〇〇〇〇〇〇〇〇〇番地

氏名 〇〇 〇〇 印

電話 〇〇-〇〇〇〇 職業 〇〇〇

[土地所有者等]

住所 栗原市〇〇〇〇〇〇〇〇〇番地

氏名 〇〇 〇〇 印

電話 〇〇-〇〇〇〇 職業 〇〇〇

下記の土地について、農用地利用計画の変更を申し出ます。

申出の土地	土地の所在・地番	農業生産の状況	地目		面積 (㎡)
			登記簿	現況	
	栗原市〇〇〇〇〇〇〇〇番地	野菜	畑	畑	200㎡
	栗原市〇〇〇〇〇〇〇〇番地	水稲	田	田	1,000㎡の内400㎡
		現状の作付を記入してください。			編入に必要な面積を記入してください。
		自己所有でない場合、所有権の移転、賃貸権の設定がある場合に該当欄を囲んでください。			600㎡
権利の種類	設定・移転 [所有権・賃貸借・その他 ( ) ]				
変更の目的及び 変更の必要性	現在の畜産経営の規模を拡大するため、新たに畜舎等を建設したい。 将来にわたり安定的な経営を行うため、畜舎〇〇〇㎡、堆肥舎〇〇〇㎡、飼料倉庫〇〇〇㎡を農業用施設用地として編入を希望するもの。 今回編入するに至った経緯や目的、申出の土地を農用地（農業用施設用地）にする必要性について、面積とともに具体的に記入して下さい。				

当該土地を選定した理由及び経緯	<p>既存畜舎の隣接地に位置し、管理に適している。また、必要面積を確保できるのはこの土地しかないため。</p> <p>他の土地も候補があり、検討していた場合、その用地よりもこちらを選定した理由、無ければ、この土地を申請した理由を記入してください。</p>		
予定される関連事業計画	事業名	<p>土地改良事業など、事業により農振農用地へ編入する場合には記入してください。</p>	
	事業主体		
	受益面積		(㎡)
	事業予定年月日		年 月 日 ~ 年 月 日
他の土地利用の規制の有無、調整経過・予定	<p>農地法第4条許可申請</p> <p>農地転用する場合、開発行為をする場合などは、ここに記入してください。</p>		
営農規模等	<p><b>【現状】</b></p> <p>水稲 + 畜産</p> <p>水稲 10ha</p> <p>畜産(肥育) 40頭</p>	<p><b>【編入後】</b></p> <p>水稲 + 畜産</p> <p>水稲 10ha</p> <p>畜産(肥育) 70頭</p>	
その他必要な事項	<p>その他、申出するに当たり、留意すべき事項などありましたら記入してください。</p>		

[記載上の注意]

- 1 各項目とも枠内に入りきらない場合は、別紙として添付すること（なお、土地所有者等が複数になる場合は、それぞれ関連する当該土地の地番等がわかるように別紙を作成すること。）。
- 2 営農規模等は、現在の営農状況を記載するとともに編入後（関連事業実施後）の目標営農規模等も記載すること。

[添付書類]

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 1 位置図                          | 1 部 |
| 2 事業計画に係る平面図等（1/500～1/2,000程度） | 1 部 |
| 3 その他参考となる資料等                  | 1 部 |